

平成 25 年 1 月 16 日

IPv4 枯渇対策技術および HTML5 技術等の新技術評価のための 新たな検証環境“StarPorte”の利用受付開始に関するご案内

IPv6 普及・高度化推進協議会

IPv4 枯渇に係るインターネット新技術導入に向けた検討 WG

平成 25 年 1 月 16 日(水)より、IPv6 普及・高度化推進協議会は、独立行政法人情報通信研究機構の北陸 StarBED 技術センターに整備している StarPorte の利用受付を開始いたします。

IPv4 アドレスの枯渇がいよいよ現実のものとなり、国内外の ISP 等においては新たな IPv4 アドレスの入手が極めて困難な状況にあり、実際に数ヶ月以内に IPv4 アドレスを使い尽くしてしまう懸念が深刻化しています。IPv4/IPv6 インターネットサービスに関わる事業者等は、IPv4 アドレス枯渇の対応策として IPv6 の本格導入を急ぐとともに、IPv4 アドレス共同利用の導入を検討せざるを得ない状況に直面しています。

IPv6 普及・高度化推進協議会では、このような状況にある企業や団体の皆様が、IPv4 アドレス共同利用や、次世代 Web 技術(HTML5)に関連したインターネットの新技術を導入するために必要な検証を行える新たな検証環境“StarPorte”を提供いたします。StarPorte を利用することで、CGN(Carrier Grade Network Address Translation)や WebSocket 等の IPv4 枯渇対策に資する技術について検証することが可能です。

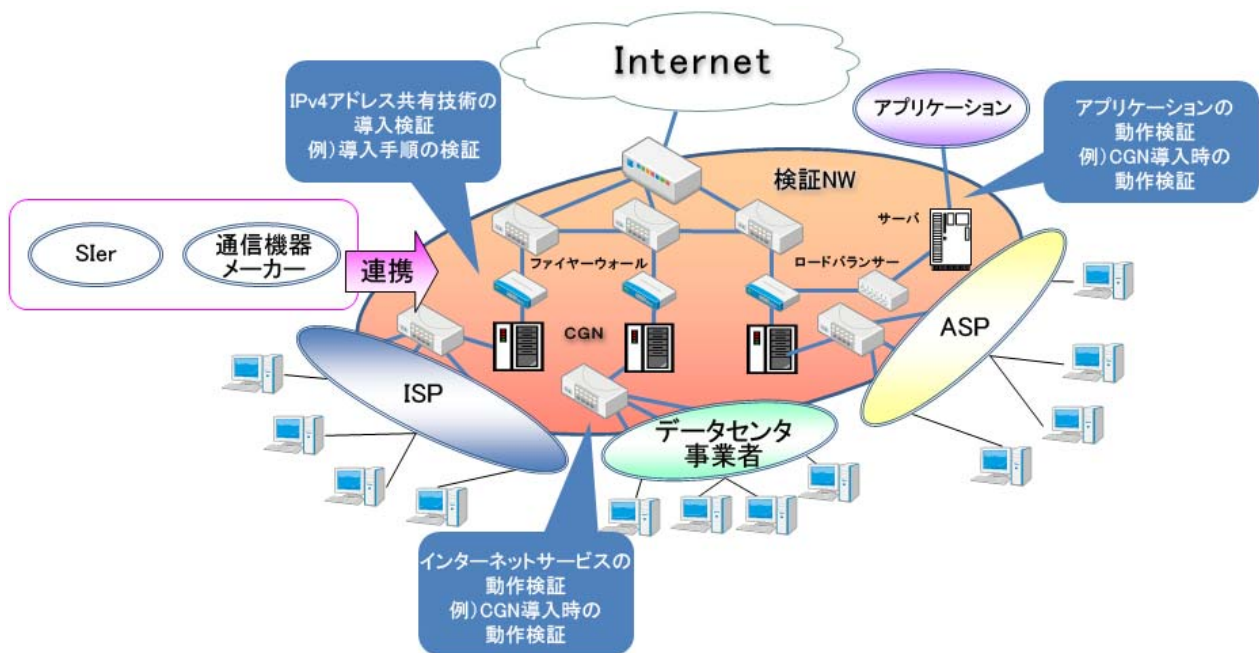
また、IPv6 技術に精通し、卓越したスキルを持つ専門スタッフが、検証のシステム設計、コンサルティング及び検証作業の補助等において協力いたします。

なお、本 StarPorte は、当協議会会員に限らず、どなたでもご利用いただけますので、奮ってお申し込みください。

ご利用方法の一例としては、StarPorte にある機材を活用し CGN を導入した場合のアプリケーション等の試験や、StarPorte に機材を持ち込み自社の環境を再現した上で、IPv4/IPv6 共存環境を想定した試験等が挙げられます。

メディア各社様におかれましては、大変お忙しい中、恐縮ではございますが、本件につきまして広くお伝えいただけますよう宜しくお願い申し上げます。

※ 本件は、平成 24 年度総務省施策「IPv4 アドレスの枯渇に伴う情報セキュリティ等の課題への対応に関する実証実験の請負」の一環として実施しております。



■ StarPorte ご利用の流れ

StarPorte をご利用の際には、事務局メーリングリスト (newtech-tb@v6pc.jp) までご連絡ください。なお、StarPorte のご利用につきましては、当協議会会員に限らず、どなたでもご利用いただけます。

■ 概要

名称:StarPorte(スターポルテ)

主催:IPv6 普及・高度化推進協議会

IPv4 枯渇に係るインターネット新技術導入に向けた検討 WG

共催:NTT コミュニケーションズ株式会社

北陸先端科学技術大学院大学(JAIST)

慶應義塾大学

独立行政法人情報通信研究機構 北陸 StarBED 技術センター

場所:北陸 StarBED 技術センター

参加費:不要。

機材持ち込みに係る費用については自身でご負担ください。

注意事項:実施された検証の項目、内容および結果について、可能な限り IPv4 枯渇に係るインターネット新技術導入に向けた検討 WG へのフィードバックをお願いします。

本件に関するお問い合わせ先

IPv6 普及・高度化推進協議会

〒223-8526 横浜市港北区日吉 4-1-1 慶應義塾協生館 2階
株式会社イーサイド 横浜支店内
E-mail: newtech-tb@v6pc.jp